

## 両面受光型 太陽光パネル

# 3認証機関から認定取得

中国のインリー・グリーンエナジーは、上海で開催された太陽光の展示会「SNEC2018」（5月28-30日）に出展、N型単結晶セルを使用した両面受光型の太陽光パネルで独テュフ（TUV）ラインランドと米ULから認証を受けた。両面パネルのUL認証は世界で第1号、中国のCGCと合わせた三つの認証機関からの認定は世界初。「技術のインリー」のイメージ発信に成功した。

ほかに、同社が中国の特許保持の会社と永続的な独占契約を結んでいる技術「ホットスポットフリー」のパネルも今後アピールしていく考えだ。同社製

## 中国インリー・グリーンエナジー

### エリック・リウ製品管理部製品マネジャーに聞く



盾と認定書を持つリウ・マネジャー



SNEC2018のブース

## 技術力のアピール成功

### 「ホットスポットフリー」も展開

品管理部のエリック・リウ製品マネジャーに話を聞いた。

—3機関からの認証で、どのような提案が可能になりますか。 — 保証する提案を行え。三つの認証を取得フリー技術について説明してください。

得後は両面の発電量をい。

— ホットスポット

リウ・マネジャーの販売が可能になった。両面パネルでUL認証が必要なから、世界の初めから認められたこと。今後は、技術力の証といえる。今後は当社がトレンドをつくらせていく。 — 日本市場はどのようにお考えですか。 — リウ・マネジャー

同パネルは住宅用では避けられない影の問題と発火の原因になる要因を解決する。こちらは当社独自の高度な技術を組み込んでおり、他社の追随を許さないユニークな製品である。 — 今後の展望は。 — リウ・マネジャー

住宅向けを推進

### 住宅向けを推進

リウ・マネジャー P型多結晶モジュールのコストパフォーマンスを高めるとともに、N型「PANDA」シ